

社会資本総合整備計画 事前評価書

平成29年3月16日

事業主体:小矢部市

計画の概要	計画の名称	小矢部市における雪や災害に強い安全安心な地域づくり(防災・安全)
	計画期間	平成29年度～平成33年度(5年間)
	計画の目標	年間を通して安全な道路交通と安心な歩行空間を確保するため、老朽化した道路ストックの点検及び修繕等を行い、また、除雪と併せて消雪施設の整備を行い、安全安心な暮らしを支える道づくりを行う。
	定量的指標	・年間の死傷事故件数を100件(H26～H28の平均)から90件(H33)へ減少する。
	全体事業費	370百万円

評価	項目	評価細目	判定 ○or×	説明欄
	目標の妥当性		①関連する上位計画等と整合性が確保されている	○
②地域の課題に適切に対応する目標となっている			○	小矢部市総合計画の政策の目標及び施策の方向性と一致している「市道の整備促進」
計画の効果・効率性		①整備計画の目標と定量的指標の整合性が確保されている	○	整備計画の目標に合わせた指標となっている
		②定量的指標がわかりやすいものとなっている	○	統計データを基にした指標であり、わかりやすさに配慮した指標となっている
		③目標と事業内容の整合性が確保されている	○	目標達成に必要な事業を要素事業として位置付けており、整合性を確保している
		④中間評価・事後評価時の検証可能な指標となっている	○	毎年の統計データを基にした指標であり、中間・事後評価を実施できる
		⑤十分な事業効果が得られる計画となっているか	○	目標達成に必要な事業を要素事業として位置付けており、十分効果が得られる計画となっている
計画の実現可能性		①計画の具体性など、事業の熟度が高い	○	橋梁長寿命化修繕計画及び道路ストック総点検結果からの優先順位に基づいた事業であり計画の具体性は高い
		②計画について住民等との間で合意が形成されている	○	地元要望が強い事業も含まれており、地元との合意形成又は理解を得られている
評価結果		事業を実施	○	全項目に○印が付いているもの
		計画の見直し		1項目でも×印が付いているもの